学校番号	218

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ビジネス情報　（実教出版）						
副教材等	学習と検定　Ｅｘｃｅｌで学ぶ　全商情報処理検定テキスト　改定版　２級						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「Excel2016」のソフトを使用して表計算ソフトの使用方法などを学習します。
・上記のソフト以外にもコンピュータを使用した実習を１年間を通して学習します。
・情報処理で学んだ知識を発展させコンピュータ、情報化社会で生きていく知識について深めます。アルゴリズム等の基礎を学習します。
・教科書を使用したプリント学習も取り入れています。

2　学習の到達目標

・業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱いオフィス業務において、情報通信ネットワークを効率的に活用するための基礎的な知識と技術を習得させる。アルゴリズム等を通じ、順序立てて物事を考え問題を解決する力を身につける。

・ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアなどを利用して管理分析、活用する知識や技術を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲を持っている。	適切な手段を用いて情報を収集・処理し要求に応じた適切なシステム開発の用件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身につけている。	ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、情報発信における表現手法やシステムの開発、などの技術の技術を身につける。	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。
評価方法	実技課題 補助プリント 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ビジネスと情報	コンピュータによる文字入力文書作成の技術を身に付ける 情報機器の特徴と役割を理解する 教材:「ビジネスと情報」 副教材:全商情報処理検定テキスト 副教材:プリント	○	○	○		a:学習したことを活かして情報機器に関心を持ち、積極的に活用する。 b:表計算ソフトを利用し自ら工夫して表などを作成できるようになる。 c:表計算ソフトの基本操作を取得する。	a:行動観察 b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出
	情報通信ネットワークの活用	インターネットを利用する上で望ましい態度を身につける 副教材:プリント	○	○	○	○	a:望ましい情報機器との接し方や知的財産権等について進んで学ぼうとする。 b:コンピュータやインターネットの望ましい活用方法を考える。 c:コンピュータやインターネットを適切に活用する技能を身につける。 d:コンピュータやインターネットの望ましい活用方法について、知識を身につける	a:行動観察 b: 課題提出 c 課題提出 d:課題提出プリント及び定期テスト
	問題解決の手順と方法	問題を解決する手段と方法を主体的に取得する 副教材:プリント	○	○		○	a:課題に意欲的に取り組む。 b:文書に書き出すことで問題を明らかにする。 d:問題を解決する手法について知識を身につける。	a:行動観察 b: 課題提出 d:課題提出プリント及び定期テスト
2学期	アルゴリズムの基礎	アルゴリズムの基礎を理解し、問題を解決する順序をフローチャートで表現する手法を学ぶ。 プログラミングの基礎を学ぶ	○	○		○	a:課題に意欲的に取り組む。 b:課題を通して自分自身でアルゴリズムを考え、書き出す d:アルゴリズム・フローチャートについての知識を身につける。	a:行動観察 b: 課題提出 d:課題提出プリント及び定期テスト

	表計算ソフトウエアの活用	情報を発信し、相手に効果的に伝える手段や方法を学ぶ 副教材:プリント・全商情報処理検定テキスト		○	○	○	a:課題に意欲的に取り組む。 b:発信する情報の内容を踏まえて適切に選択する。 c:表計算ソフトウェアの基本操作を習得する。 d:グラフや表を利用した分析や報告書の活用例。	a:行動観察 b:課題提出 c:課題提出 d:課題提出 プリント及び定期テスト
3学期	表計算ソフトウエアの活用	情報を発信し、相手に効果的に伝える手段や方法を学ぶ 副教材:プリント・全商情報処理検定テキスト	○	○	○	○	a:課題に意欲的に取り組む。 b:発信する情報の内容を踏まえて適切に選択する。 c:表計算ソフトウェアの基本操作を習得する。 d:グラフや表を利用した分析や報告書の活用例。	a:行動観察 b:課題提出 c:課題提出 d:課題提出 プリント及び定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。